

演劇・映画の  
専門図書館

# 松竹大谷図書館ニュースレター

■ No. 258(2019年9月) ■

令和元年 9月 10日 発行

≫≫ お知らせ

## クラウドファンディングでの支援募集【第8弾】を開始しました！

公益財団法人 松竹大谷図書館は、当館運営及び所蔵資料の保存とデジタル化のための資金調達を目的とした「【第8弾】写真で蘇る名優の面影、歌舞伎の魅力を次世代へ。」プロジェクトを、本日9月10日より、「Readyfor (レディーフォー)」にて開始いたしました。

### 1万枚の【歌舞伎プロマイド】をデジタル化・保存するプロジェクト！

## 「【第8弾】写真で蘇る名優の面影、 歌舞伎の魅力を次世代へ。」

- 募集期間 令和元年9月10日(火)～10月30日(水)【50日間】
- 実行者 松竹大谷図書館事務局 武藤祥子
- 目標金額 250万円(図書館の令和元年度運営資金：170万円  
【歌舞伎プロマイド】のデジタル化・保存容器費用：80万円)
- 募集金額 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

今回のプロジェクトの支援でデジタル化を進めようとしている【歌舞伎プロマイド】とは、明治末期から戦前にかけての、歌舞伎の舞台写真や俳優の扮装写真(演じる役の衣裳を着け化粧をして撮影している写真)です。劇場の売店などで売られ、観劇の記念品や土産物として大変人気が高かったもので、芝居好きの間で広く愛好されていました。そのため各地に相当数が現存していると思われるが、当時の歌舞伎の舞台や名優たちの姿が記録されている貴重な資料であるにも関わらず、整理や研究が未だ進んでおらず、その価値が十分に活かされているとは言えません。現在、当館では、演劇に関する写真資料を約12万枚所蔵していますが、その他に未整理の写真資料が段ボール箱にして25箱もあります。

今回、【第8弾】プロジェクトでは、ご支援により未整理資料の一部である【歌舞伎プロマイド】約1万枚をデジタル化し、画像での閲覧と考証を行う事で整理を進め、より活用する事を計画しています。また、公開可能な写真についてはWeb上で閲覧が出来るようにすることで、日本演劇の研究にも貢献したいと考えています。そして、デジタル化作業終了後の【歌舞伎プロマイド】は保存容器に保管し、写真資料に適した環境での保存を予定しています。

ご支援の金額に応じて、当プロジェクト限定歌舞伎台本『曾我絢侠御所染』と映画台本『男はつらいよ』第一作の表紙デザインの文庫本カバーや、所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約300タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利、当館所蔵組上燈籠絵『頼朝富士之牧狩仁田四郎功名之圖組上ケ五枚續』のオリジナル文庫本カバー、松竹大谷図書館見学会にご招待など、趣向を凝らしたリターンを設定しています。是非、プロジェクトページをご覧ください、周囲の方にもご紹介いただけますようお願いいたします。また趣旨にご賛同・ご支援いただければ大変有難く存じます。



【第8弾】写真で蘇る名優の面影、  
歌舞伎の魅力を次世代へ。



【歌舞伎プロマイド】のデジタル  
撮影準備のための仕分け作業



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]  
「映画台本」文庫本カバー[右]  
※大きい方は本物の台本  
文庫本カバーは見本

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

くわしくは、下記の URL または右の QR コードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan8>

★公式 Facebook でも情報発信しております！

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



■『歌舞伎 特選 DVD コレクション』に当館の資料のコラムが掲載されています

テレビCMですすでにご覧になった方もいらっしゃるかと思います  
が、8月28日(水)に、アセット・コレクションズ・ジャパン株式会社より隔週刊『歌舞伎 特選 DVD コレクション』が創刊されました。

創刊号のDVDには平成30年1月に歌舞伎座で上演された『勸進帳』の舞台映像が収録されています。このシリーズは全100号で完結予定ですが、毎奇数号に掲載される「松竹大谷図書館名品展」というコラムで、当館の所蔵資料を写真付きでご紹介致しますので、ぜひご覧下さい！創刊号でご紹介する名品は、大正12年に刊行された、九世市川團十郎の写真集『舞臺之團十郎』です！

「歌舞伎美人」のお知らせはこちら↓

<https://www.kabuki-bitto.jp/news/5651>



九世市川團十郎の写真集『舞臺之團十郎』

»» 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 8月 演劇公演資料 ■ ○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『伽羅先代萩 御殿・床下』	○	○	○	○
	『闇梅百物語』	○	○		
	『東海道中膝栗毛』	○	○		
	『新版 雪之丞変化』	○	○		
新橋演舞場	『京都 都大路謎の花くらべ』	○	○	○	○
	『朗読劇 女優』	○		○	
	『ブラック or ホワイト？あなたの上司、訴えます！』	○	○	○	○
松竹座	『少年たち 青春の光に…』	○		○	
南座	『超歌舞伎のみかた』	○		○	○
	『お国山三 當世流歌舞伎踊』	○			
	『今昔饗宴千本桜』	○			
	『今昔饗宴千本桜 リミテッドバージョン』	○			
地方巡業	『蘭 緒方洪庵浪華の事件帳』			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 (6-8月) ■ (順不同)

青年団『4A.M.』アトリエ春風舎プログラム/MONO『涙目コント』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/イマシバシノアヤウサ『アイランド』下北沢 OFF・OFF シアタープログラム/『偉大なる生活の冒険』アトリエヘリコプタープログラム/M&Oplays『二度目の夏』本多劇場プログラム/『吉田見本市夫婦公演2』新宿眼科画廊プログラム/『さよなら西湖クン』下北沢小劇場 B1 プログラム/『NO.2』神保町花月プログラム/『サラリーマン7』神保町花月プログラム/東京成人演劇部『命、ギガ長ス』ザ・スズナリプログラム/トム・プロジェクト『A 列車に乗っていこう』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/『大洗にも星はふるなり』下北沢駅前劇場プログラム/『MANSAI 解体新書 5W1H』世田谷パブリックシアタープログラム/『お気に召すまま』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/新国立劇場演劇研修所『怪物 The Monster』新国立劇場小劇場プログラム/糸あやつり人形一糸座『名探偵ドイル君 幽鬼屋敷の惨劇』赤坂 RED/THEATER プログラム/『ヤン・ペシエュー人芝居 存在しないが存在可能な 楽器俳優のためのシナリオ』シアターX プログラム/『朗読劇 月光の夏』北沢タウンホールプログラム/劇団新制作座『泥かぶら』国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホールプログラム/『第三回日本舞踊未来座 彩(SAI)』国立劇場小劇場プログラム/『第十三回人間国宝の会』国立劇場小劇場プログラム/『新紀尾井素踊りの会 第一回藤間勘十郎』紀尾井小ホールプログラム/『新・古事記ミュージカル 天の河伝説』博品館劇場プログラム/NLT・博品館劇場『グッドピープル』博品館劇場プログラム、台本/DAIAMOND★DOGS『ヴァレンタインに逢いましょう』博品館劇場プログラム/音楽座ミュージカル『グッバイマイダーリン★』草月ホールプログラム/『ミュージカル エリザベート』帝国劇場プログラム/『ブラッケン・ムーア』シアタークリエプログラム/東京芸術座『終りに見た街』俳優座劇場プログラム/ホリプロ『ドライビング・ミス・デイジー』紀伊國屋ホールプログラム/『レ・ミゼラブル』博多座プログラム/『親子で楽しむ舞踊・邦楽』国立劇場小劇場プログラム/『大人のための声明入門・雅楽入門』国立劇場小劇場プログラム/『祝福芸』国立劇場小劇場プログラム/『第29回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』2019年Vol.101／『Confetti』2019年SEPTEMBER／『TICKETS GO!GO!』Vol.94／『あぜくら』2019年8月号／『げき』21号／『つどい』50号／『ほうおう』2019年10月号／『ジョイン』No.94／『テアトロ』2019年9月号／『ラ・アルプ』2019年9月号／『演劇界』2019年10月号／『喝采』2019年11月／『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.17／『国立演芸場公演ガイド』令和元年9月号／『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』13号／『大向う』令和元年8月号／『伝統文化新聞』159号／『日本演劇興行協会会報』56号／『日本芸術文化振興会ニュース』2019年9月号／『日本照明家協会誌』2019年8月号／『日本舞踊』71巻9月号／『悲劇喜劇』2019年9月号／『邦楽の友』令和元年9月号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2019年10月号／『SCREEN』2019年10月号／『TVガイド』2019年8/9号,8/16号,8/23号,8/30号／『おとなのデジタルTVナビ』2019年10月号／『キネマ旬報』2019年9月上旬号,9月下旬特別号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.27／『シナリオ』2019年10月号／『シナリオ教室』2019年9月号／『ドラマ』2019年9月号／『ピクトアップ』2019年10月号／『映画テレビ技術』2019年9月号／『映画撮影』No.222／『映画時報』2019年8月号／『映画秘宝』2019年10月号／『剣客商売DVDコレクション』No.1-No.30／『黒澤明研究会誌』41号／『釣りバカ日誌 映画DVDコレクション』No.1-No.22／『東映キネマ旬報』Vol.33／『文化通信ジャーナル』2019年8月号／『藝術学研究』29号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タ イ ト ル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『引 っ 越 し 大 名 ！ 』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『永遠に僕のもの』『HOT SUMMER NIGHTS ホット・サマー・ナイツ』『二ノ国』『ダンスウィズミー』『荒野の誓い』『フリーソロ』『聖なる泉の少女』『ロケットマン』『劇場版 おっさんずラブ LOVE or DEAD』『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド』『ガンジー島の読書会の秘密』『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』『ライオン・キング』『ピーターラー マンチェスターの悲劇』『命みじかし、恋せよ乙女』『イソップの思うツボ』

»資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2019年6月-7月) ※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、常磐津節保存会、こまつ座、国立劇場、帝国劇場、演劇出版社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、デアゴスティーニ・ジャパン、愛知芸術文化センター、有限会社合同通信社、キネマ旬報社、文学座、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、一般社団法人日本民間放送連盟、井澤鑑次郎、劇団昴、松岡亮、銀座 博品館劇場、KAAT 神奈川芸術劇場、明治座、戸部和久、株式会社カモミール社テアトロ編集部、丸善出版株式会社、劇団民藝、御園座演劇図書館、中央区郷土天文館(タイムドーム明石)、博多座、伝統文化新聞、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、一般社団法人日本演出者協会、日本劇作家協会、株式会社東急文化村、木谷真紀子、鎌倉同人会、東宝株式会社映像事業部、銀座百店会、横島昇、(株)近代映画社、おとなのデジタル TV ナビ編集部、株式会社セクターエイティエイト KENSYO 編集部、おもだか会、シーエイティプロデュース、国立映画アーカイブ、無声映画鑑賞会、東京都江戸東京博物館、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、邦楽の友社、博物館明治村、シアタークリエ、有限会社 春風社、新歌舞伎座、若林さだ吉、人形劇団プーク、日本映画テレビプロデューサー協会、公益財団法人日本近代文学館、岩波ホール、丹野達弥、公益社団法人日本演劇協会、株式会社花組芝居、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、古城十忍、公益社団法人日本演劇興行協会、新国立劇場情報センター、劇団青年座、(公社)日本舞踊協会

どうもありがとうございました



## 第 78 回所蔵資料展示 「初代水谷八重子」展

展示期間：2019年8月30日～10月30日／於 閲覧室

夏期の特別整理休館明けの松竹大谷図書館所蔵展示は、本年10月に歿後40年を迎える新派の大女優・初代水谷八重子をご紹介します。

水谷八重子は、明治38(1905)年8月1日、東京・牛込神楽坂で時計商を営む松野豊蔵・とめ夫婦の次女として生まれました。5歳の時には父・豊蔵が死去したため、母と共に姉夫婦のもとに身を寄せることとなりました。姉・勢舞の夫、水谷竹紫は、芸術座を結成した島村抱月の後輩で、幼い八重子も、芸術座の一員であった竹紫について稽古場へよく遊びに行くようになります。

転機が訪れたのは、8歳の時でした。大正2(1913)年9月、芸術座の旗揚げ公演『内部』で子役が必要となり、急遽八重子が駆り出されたのです。こうして八重子は、女優への道を歩き始めることとなります。初めて舞台に立った日から3年後には、芸術座の帝国劇場公演『アンナ・カレーニナ』で、松井須磨子演じるアンナの息子・セルジー役に抜擢されました。この舞台の時から、「水谷八重子」という名前を正式な芸名としました。大正10(1921)年には、映画『寒椿』で映画デビューを果たしますが、当時高校生だった八重子は学校からの反対を受け、「覆面令嬢」という匿名での出演となりました。この映画で共演した井上正夫に認められ、大正12(1923)年7月御国座の『大尉の娘』の舞台に露子役で主演します。

2度目の転機は、19歳の時に訪れます。大正7(1918)年11月の抱月急逝、翌8(1919)年1月の須磨子の自殺により、わずか6年で幕を閉じた芸術座でしたが、義兄・竹紫が、水谷八重子を看板女優にして、大正13(1924)年2月に第二次芸術座を旗揚げします。竹紫のもと、めきめきと力をつけ、人気を得た八重子は、そのまま新劇の道を進もうとしましたが、竹紫や坪内逍遙の勧めもあり、大正14(1925)年には、松竹と映画の専属契約を結び、昭和3(1928)年には、松竹入りをしました。以後、新派との共演の機会も増え、新派の名女形・初代喜多村緑郎から、教えを受けました。当時の新派はまだ女形が中心で、女優の活躍の場はなかなかありませんでしたが、そんななか花柳章太郎とコンビを組んで『残菊物語』や『鶴八鶴次郎』など、数々の名舞台を生み出しました。昭和10(1935)年9月、義兄の水谷竹紫が逝去。義兄の遺志を継いで哀しみの中でも懸命に芸術座を支える八重子を励まし続けた歌舞伎俳優の十四代目守田勘弥と、昭和12(1937)年に結婚しました。その2年後には娘・松野好重(=二代目水谷八重子)が生まれ、産休後も八重子は芸術座を率いて活動を続けましたが、戦争が激化したため昭和20(1945)年春に、芸術座を解散し、20年でその幕を閉じました。

終戦後、熱海に疎開していた八重子に、松竹の大谷竹次郎が声を掛け、昭和21(1946)年2月東京劇場での『滝口入道の恋』で復帰を果たします。当時、演劇公演はGHQの指導・管轄下にありましたが、自由と民主主義の方向に添う作品として、再演を熱望され、2か月後の4月にも東京劇場で再演しました。昭和24(1949)年、劇団新派を結成。以後、新派の屋台骨を支える目覚ましい活躍を続けました。喜多村や花柳亡き後の新派を支え、また後進の育成にも貢献した水谷八重子は、昭和54(1979)年10月1日、74歳で永眠しました。

今回の所蔵展示では、初代水谷八重子の活躍と魅力を、演劇や新派、映画といった多彩なスチール写真などでご紹介しています。今回の展示ではご紹介できなかった資料がまだまだたくさんあるのですが、その中からいくつかをこのニュースレターでご紹介いたします。

一つ目は【八重子十種の台本】です。初代水谷八重子が、舞台生活60周年を記念して、昭和48(1973)年9月に自身の当たり役の中から10作品を選定しました。その作品が『大尉の娘』『風流深川唄』『滝の白糸』『花の生涯』『皇女和の宮』『明日の幸福』『十三夜』『鹿鳴館』『明治の雪』『寺田屋お登勢』です。当館には、数多くの新派作品台本があります。今回は八重子十種の作品の台本を集めてみました！展示スペースの関係で、今回は演劇台本を展示していませんが、カウンターで請求していただければ、お手にとって楽しんでいただけます。

二つ目は【義兄・水谷竹紫の関連資料】です。八重子を演劇の世界に導いた存在が義兄の水谷竹紫です。そんな義兄の死を八重子は様々な形で悼みました。一周忌を迎えるにあたって、各界著名人の追憶文と個人の写真や作品を収録した『竹紫記念』を編集したほか、昭和16(1941)年7月には、明治座で「水谷竹紫記念興行」と銘打ち公演を行いました。このような資料からも、深い感謝と哀悼の気持ちが伝わってきます。

### ♪展示ウラ話♪

今回、展示資料を選定している段階で、奇跡的な思わぬ巡りあわせがありました。クラウドファンディング第8弾の準備のため未整理写真の調査を行っていた担当者が、希少な水谷八重子写真を次々発見！その中には、早川雪洲と共演した『天晴れウォング』や『第七天國』、大阪での『黎明』の芝居稽古に向かうため、朝日新聞社の飛行機で、東京から大阪へ飛んだ際の貴重な写真などが、次々と見つかりました。八重子さんが「これも展示して」と言ってくれているようなすごく絶妙なタイミングでした。これらの写真は、展示ケースの中でご紹介していますので、ぜひ見に行ってください。



八重子十種の台本



左：水谷八重子が編集した  
図書『竹紫記念』  
右：昭和16(1941)年7月  
明治座プログラム

## 展示資料一覧

### 《展示ケース上段》

- 新派『人形の家』大正13年2月牛込会館 ●スチール写真[ノラ(水谷八重子-1世)]
- 新派『大尉の娘』大正15年9月本郷座 ●スチール写真[左:露子(水谷八重子-1世)、右:森田慎蔵(井上正夫)]
- 新派『二筋道』昭和7年10月明治座 ●スチール写真[左:喜代次(喜多村緑郎-1世)、右:おさよ(水谷八重子-1世)]
- 演劇『智恵子抄』昭和3年11月明治座 ●スチール写真[智恵子(水谷八重子-1世)]
- 新派『天晴れウォング』昭和5年9月帝国劇場 ●スチール写真[ファンニイ(水谷八重子-1世)]
- 新派『第七天国』昭和6年1月帝国劇場  
●スチール写真[左より:シコオ(早川雪洲)、プール(小堀誠)、ディアン(水谷八重子-1世)]
- 新派『ジャンヌ・ダルク』昭和6年3月帝国劇場 ●スチール写真[ジャンヌ・ダルク(水谷八重子-1世)]
- 新派「新派大合同十月興行 水谷八重子一座加入」昭和12年10月明治座 ●プログラム
- 演劇「昭和二十一年四月興行 市川猿之助劇団 水谷八重子特別加入」昭和21年4月東京劇場 ●プログラム
- 新派『新橋夜話』昭和29年2月新橋演舞場 ●スチール写真[左:不二子後にまり子(水谷八重子-1世)、染千代(花柳章太郎)]

### 《展示ケース下段》

- 新派『明日の幸福』昭和29年11月明治座 ●スチール写真[恵子:水谷八重子-1世]
- 新派『風流深川唄』昭和31年5月新橋演舞場 ●スチール写真[左:おせつ(水谷八重子-1世)、右:長蔵(伊志井寛)]
- 新派『滝の白糸』昭和47年6月国立劇場 ●スチール写真[白糸(水谷八重子-1世)]
- 新派『葦岡青洲の妻』昭和48年5月新橋演舞場  
●スチール写真[左より:於継(杉村春子)、雲平(中村勘三郎-17世)、加恵(水谷八重子-1世)]
- 映画『母』昭和25年松竹大船  
●スチール写真[左:大河春子(若杉曜子)、中央:大河進(高橋貞二)、右:大河朝子(水谷八重子-1世)]  
監督:佐々木啓祐/脚本:長瀬喜伴/原作:鶴見祐輔/共演:若原雅夫、高田稔、村田知英子
- 映画『悲恋華』昭和25年松竹京都 ●スチール写真[左:深田静(水谷八重子-1世)、右:伊三(阪東壽三郎)]  
監督:原研吉/脚本:鈴木兵吾/原作:吉川英治/共演:月形龍之介、鶴田浩二、若杉曜子、井川邦子
- 映画『母化粧』昭和26年松竹大船 ●スチール写真[左:宇野恒子(水谷八重子-1世)、右:大原直人(高田稔)]  
監督:佐々木啓祐/脚色:池田忠雄+長瀬喜伴/原作:竹田敏彦/共演:夏川静江、高橋貞二、角梨枝子
- 映画『母と娘』昭和28年東宝 ●スチール写真[左:昌子(有馬稲子)、右:お多江(水谷八重子-1世)]  
監督:丸山誠治/脚本:井手俊郎/原作:源氏鶏太/共演:藤原釜足、山本廉、青山京子
- 映画『大忠臣蔵』昭和32年松竹京都  
●スチール写真[左より:戸無瀬(山田五十鈴)、大石妻お石(水谷八重子-1世)、小浪(嵯峨三智子)]  
監督:大曾根辰保/脚本:井手雅人/共演:市川猿之助-2世(=市川猿翁-1世)、市川団子-3世(=市川猿翁-2世)、高田浩吉、高千穂ひづる、坂東蓑助-6世(=坂東三津五郎-8世)

### 『松竹百年二代目襲名記念 水谷八重子展 水谷八重子と新派の歩み』

●図書/平成7年 松竹株式会社

### 新派『鹿鳴館』昭和37年11月新橋演舞場

●スチール写真(舞台面)[左:景山伯爵(森雅之)、中央:夫人 朝子(水谷八重子-1世)]

### 『〈特別番組〉名花逝く水谷八重子 思い出の名場面』●台本/昭和54年日本テレビ

●スチール写真/大正14年3月2日撮影[中央:水谷八重子-1世、右:白井松次郎]

大阪・浪花座での『黎明』の舞台稽古に参加するため、立川飛行場から朝日新聞社の飛行機で大阪へと向かった水谷を、松竹の白井松次郎らが出迎えた

『ふゆばら』●図書/昭和30年 学芸書院 水谷八重子-1世(著)

『藝・ゆめ・いのち』●図書/昭和31年 白水社 水谷八重子-1世(著)



「初代水谷八重子」展の様子



## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。  
何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）2019(令和元)年8月にご支援いただきました  
法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
有限会社合同通信社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター  
松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

### ■ 編集後記 ■

8月16日より8月29日まで、2週間の夏期特別整理休館をいたしました。計5ブロックある電動移動書架のうち3ブロックで、業者さんによる修理作業が行われましたので、修理作業前と後に総勢7人で書架内で蔵書の移動を行いました。また、本日より始まった第8弾クラウドファンディングの準備のために、閲覧室で未整理の演劇写真資料のチェック作業も行い、他にも、「初代水谷八重子」展の準備、映画プログラムの所蔵チェック作業など、様々な作業に取り組みました。



蔵書の移動作業



未整理の【歌舞伎プロマイド】チェック作業



電動移動書架の修理作業

▲ 至銀座 昭和通り	
晴海通り	● 歌舞伎座 東銀座駅 (5番出口)
	● 銀座松竹 スクエア
● 松竹大谷図書館 (晴海通り側EVで3階へ)	
● 京橋郵便局	
● 映画館・東劇	
● 首都高速1号線	● 首都高速1号線
● 至晴海 ▼	

### 編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

#### ● 利用案内 ●

【開館時間】平日午前10時～午後5時 / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1枚 白黒 50円、カラー150円・B4 1枚 白黒 100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

#### ● 資料検索 ●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

#### ● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

